

令和 6 年 5 月 20 日

理事長 殿

2023年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	航空宇宙工学コース	職	教授	氏名	中野 正勝
研究分担者	所属	医療福祉工学コース	職	教授	氏名	福田 恵子
	所属	ロボット工学コース	職	教授	氏名	田村 恵万
	所属	医療福祉工学コース	職	教授	氏名	吉村 拓巳
研究課題名	(和文) 医工連携教育・研究プロジェクトの魅力発信と新たな展開に関する研究					
	(英文) Research on the Appeal and New Development of Medical-Engineering Collabora					
研究種目	教育課題研究					
研究実績の概要						
<p>これまでに実施してきた医工連携教育・研究プロジェクトに対する評価を実施し、利点、弱点、効果を明らかにすることで、次年度以降に向けた改善点を抽出した。</p> <p>1. リカレント講座や共同研究の課題点の洗い出し：リカレント講座については、多くの広報活動を行ったにもかかわらず、受講料徴取による影響なのか申し込み者が少なく、企画した9講座のうち1講座は申込者が0であったために講座が中止となった。OPCの枠を用いた講座開設が一つの対応策である。共同研究は引き続き実施するとともに、次年度は台東区立台東病院でヒアリングを行うことで、病院の協力を仰いで課題発見とアイデア創出を行う枠組みへと展開できる。</p> <p>2. 困来工学教育プログラムの総括：未来工学教育プログラムでは第一期の修了生を輩出した。受講者アンケートの結果から、知識やスキルの向上、満足度の高さを確認することができた。このアンケート結果を踏まえたカリキュラム等の改善、第2期生の排出を実施する。キャンパス全体のプログラムとして展開する可能性も検討したい。</p> <p>3. 魅力発信・将来展開の調査・研究：バーチャル演習室の整備を行うことができ、モーションキャプチャなどの導入を行った。リカレント教育への活用とともに、鳥人間コンテスト用に開発されたシミュレータとのコラボなど、部活動などの学生活動とも連携して教育ばかりでなく、本校の入試広報活動へと展開していくことも期待される。また、本校の施設の有効的な利活用法を探索し、科学技術展示館の活用を検討した。低年齢層をターゲットに近隣の小学校へのアピールも実施した。</p>						
研究発表（論文、著書、講演等）						
・無し						
その他（教育活動・OPCへの貢献、特許等）						
・リカレント講座（9件）、OPC（3件）を実施						